

令和5年9月

北九州港港湾計画改訂に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

この委員会では、北九州港港湾計画改訂について、航行安全の観点からその安全性について調査検討し、必要な航行安全対策をとりまとめた。

検討対象とした改定内容は、新門司地区における RORO 船バース等の新規計画並びに響灘東地区における複数の貨物船バースの新規計画のほか、旅客船バースの変更計画、対象船舶の大型化に伴う貨物船バースの変更計画、専用ふ頭の新規計画及び変更計画、小型船だまりの新規計画等多岐にわたった。

安全性の検討においては、主として、これらの施設における対象船舶の諸元と施設計画との関係を整理し、港湾施設に係る技術基準との関係を確認するとともに、操船例図を用いて対象船舶の入出港操船と水域施設との関係や他の利用船舶との関係について調査検討した。

この結果、一部の係留施設における余裕水深の確保、操船水域の競合等に関して留意すべき点があり、運用時における注意や水域の利用調整等の対応が必要であることを提言した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 港湾計画改訂の概要
- (3) 航行環境
- (4) 検討課題の整理
- (5) 安全性の検討
- (6) 航行安全対策